



# 感じて動く ～ Feel & Move ～

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしいいっぱい たくまさいっぱい

三城小学校 学校だより

R6.12.24 第12号

校長 田中康隆

## よいお年を… ～第2学期終業式～

本日、12月24日(火)第2学期終業式では、通知表について以下のように話しました。

557名の通知表を見ました。持久走記録会や80周年記念行事、見学旅行や市内の行事等活躍の場が広がった2学期でした。学習や生活の中で、「自分のよさを発揮して人のために尽くした人」「自分の苦手なことに粘り強く取り組んで力を付けた人」など、どの人もよく頑張り成長する姿が見られました。

皆さんの通知表を見ている時、ふと1学期の「家庭から」というところに目が留まりました。通知表には、学校の成長の様子をお知らせする「学校から」という欄があります。学校の皆さんの様子をおうちの方に知っていただくために、学校ではこのように過ごしているので、このように指導し、このように育てています(育てていきます)ということを書くようにしています。その下に「家庭から」という欄があります。今回改めて見てみると、皆さんのおうちの人のいろいろな思いが伝わってきました。1年生で多かったのは「最初は、学校に行きたくなくて…」「不安を抱えながら…」「泣きながら登校させました。」「毎日学校が楽しいと出かけていくことを嬉しく思います。」など登校に関する内容が多かったように思います。2年生以上になると、「給食をきちんと時間の中で食べられるようになってよかったです。」「行事で活躍する姿を見て、親として誇らしかかったです。」「文字を覚えて、手紙をくれるようになりました。」等々、一緒に皆さんの成長を喜んでくださる様子が伝わってきます。つらい思いをした人もいると思いますが、こうやって乗り越えられた経験やみんなの前で頑張ったことを披露する経験、身に付けたことを生かした経験というのは学年が上がっても、大人になってもきっと自信になることでしょう。

このように、私たち学校の先生もおうちの方々も、皆さんの成長を日々見つめ共に喜ぶ仲間なのです。2学期も皆さんよく頑張ったので、さらに褒めてもらえることでしょう。今日も通知表を持って帰り、一緒に見て、「できたこと」「できなかったこと」をゆっくり振り返り、話してください。学校からの短い文では言い表せないことについて、皆さんの口からしっかり伝えてください。

さて、来年は「巳年(みどし・へびどし)」です。蛇は皮を脱ぎながら大きくなっていくことから「復活と再生(生まれ変わること)の象徴」と言われています。新しいことが始まる年になると言われ、「成長」「変化・変革」の年のイメージがあります。ぜひ、今までできなかったような新しいことを始める機会、大きな成長の機会にしていきたいでしょう。

それでは、また1月8日元気な姿で会いましょう。

本年も、もうすぐ終わろうとしています。保護者、地域の皆様におかれましては、学校の教育活動においてご理解とご協力をいつもありがとうございます。どうぞ、ご家族でよいお年をお迎えください。

## 駅前の花壇に花を植えました！

12月9日(月)、5年生の総合の学習で、駅前観光案内所角の花壇に花を植えました。以前、学校だよりも知らせていたかと思うのですが、地域教育の一環として、ボランティア活動をしようとなったものです。この日は、5年各学級から5人ずつ、計15名が学校運営協議会の砥山さんの指導の下、パンジーやビオラの花の苗を植えました。通りすがりの方々が、振り返ってくださるのが嬉しかったです。

現在、学校運営協議会、地域学校協働本部の皆さんとは、子供たちの学習に地域と連携してできることが他にもないか模索をしているところです。



長期休業明けは、子供の自殺や不登校などの発生が多いと言われています。学校でも相談に乗っていますが、外部の相談窓口なども紹介をしながら指導をしていきます。ご家庭や地域でも休み中の見守りをよろしくお願いいたします。